

令和6年度建設コンサルタント業務等発注予定

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
1	国総研（旭）研究本館外（24）改修設計業務	①一般競争（総合評価）	②建築	4ヶ月間	国土技術政策総合研究所（旭）の研究本館、実験施設等の改修実施設計を行う。	1四半期
2	R5上下水道関連実験施設基本検討業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	4ヶ月間	国土技術政策総合研究所（旭）の上下水道関連実験施設の基本検討を行う。	1四半期
3	令和6年度下水道管きよ布設・陥没状況に関する実態調査分析業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	8ヶ月間	下水道管きよ布設状況及び道路陥没に関する実態調査・分析を行う。	1四半期
4	下水道管路点検調査機器カタログ更新業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	10ヶ月間	下水道管路点検調査機器のカタログ更新を行う。	1四半期
5	ハイセラミック管の劣化に関する実態調査・分析業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	8ヶ月間	ハイセラミック管の劣化に関する実態調査・分析を行う。	1四半期
6	管きよ劣化データベースの拡充及び健全率予測式の更新業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	8ヶ月間	管きよ劣化データベースの拡充及び健全率予測式の更新を行う。	1四半期
7	管路管理に係る業務指標の設定に関する検討業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	7ヶ月間	管路管理に係る業務指標（PI）の設定に関する検討を行う。	1四半期
8	硬質塩化ビニル管の劣化傾向分析業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	7ヶ月間	硬質塩化ビニル管の劣化傾向分析を行う。	1四半期
9	下水道システムを活用した生ごみ集約処理施策の行政コスト等の事後評価に関する調査業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	6ヶ月間	下水道システムを活用して、生ごみを集約処理している地方自治体を対象に、既往データ・資料から行政コスト等の事後評価を行う。	1四半期
10	令和6年度下水道革新的技術の評価のための情報収集・整理業務	①一般競争（総合評価）	③土木	7ヶ月間	本業務は、令和6年度に行う下水道革新的技術（以下、「革新的技術」とする）の実規模実証研究及びFS調査に関して、革新的技術の評価を適切に行うための基礎資料として、比較対象となる既存技術の情報の収集・整理や簡易算定式の作成のほか、有識者等への意見聴取を行うものである。なお、革新的技術そのものの評価は、本業務とは別に実施される。	1四半期
11	（仮）下水道技術ビジョンロードマップの改定に関する情報収集・整理業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	6ヶ月間	本業務は、国土交通省における下水道技術ビジョンロードマップの改定に要する情報収集と整理、有識者への意見聴取を実施するものである。	1四半期
12	（仮）下水道と地域社会の全体最適化を目指す情報収集と整理に関する検討業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	6ヶ月間	本業務は下水道と地域社会の全体最適の方向性を整理し施策に反映させるための情報収集と整理を行い有識者への意見聴取を実施するものである。	1四半期
13	堤防の耐侵食力に関する実験業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	7ヶ月間	堤防土羽の耐侵食力に関する土質等の影響について、土の引張破壊応力試験や、水理模型実験により、検討を行う。	1四半期
14	河道計画・設計における数値解析技術の適用手法に関する調査業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	6ヶ月間	平面二次元計算手法の標準化に資するため、汎用的な河床変動モデル（1D、2D）の感度分析を通じた再現性を把握する。また、予測計算における用途別の条件設定法、検証計算で確保すべき再現精度等を整理する。	1四半期
15	混合粒径土砂を用いた移動床実験業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	8ヶ月間	セグメント1の二極化の現象解明および数値解析での再現方法についての知見を得るための水理模型を製作する。また、予備通水を実施し、その結果を踏まえて通水ケース、計測項目等の実験計画を作成する。	1四半期
16	河道基盤情報管理アプリ設計・構築業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	6ヶ月間	河道等情報管理アプリケーションを段階的に運用開始するため、保有する機能に開発優先順位付けを行い、機能毎に設計・構築を実施する。令和6年度はデータベース部分の構築と、データの格納機能の設計・構築を行う。	1四半期
17	河川堤防の耐浸透性能評価手法に関する適用性検証業務	②簡易公募型プロポ（拡大型）	③土木	7ヶ月間	異なる土質や土層構造などを有する河川堤防を対象として、耐浸透性能を評価するための計算を全国代表河川において実施し、適用性を検証するとともに実装に向けた課題等を整理する。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
18	衛星取得データを活用した河川堤防の被災箇所自動抽出システム検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	衛星データを活用した河川堤防の被災箇所自動抽出システムの実装に向けた課題等を整理するとともにシステム設計を行う。	1四半期
19	多方向不規則波による人工リーフ上の波高分布に関する水理模型実験	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、浅海域での多方向不規則波が来襲する状況での人工リーフの被覆ブロック散乱を引き起こす水理現象を把握するため、多方向不規則波造波装置とプロジェクションマッピング計測装置を用いて平面的な波高分布を計測する水理模型実験を行うものである。	1四半期
20	海岸における段階的な気候変動適応策の検討手法に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、海岸における段階的な気候変動適応策の日本国内における適用性を把握するため、モデル海岸における段階的な気候変動適応策の試作、長期の海浜変形計算による適応策の効果評価を行うものである。	1四半期
21	光学衛星画像及び空中写真からの海岸線自動抽出のための学習モデル等構築業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、衛星画像等を活用した海岸線モニタリングに活用可能なデータを拡充するため、空中写真からの海岸線の自動抽出手法の改良、Landsatによる観測データからの海岸線抽出の学習モデルの構築、海岸線抽出ツール利用サイトの改良を行うものである。	1四半期
22	衛星画像を活用した海岸線モニタリングの海岸管理者向け支援サイトの構築業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、衛星画像を活用した海岸線モニタリングを現場実装するため、衛星SAR画像の解析による海岸周辺の変状抽出の試行、海岸線抽出ツール利用サイトの試験運用版の構築を行うものである。	1四半期
23	高潮浸水リスクにおける不確実性要素の評価手法に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	本業務は、高潮浸水リスクマップの作成に影響する、天文潮位、高潮と台風性降雨の同時生起性による河川流量、海岸堤防の破堤条件といった不確実性要素について、その評価方法を検討するものである。	1四半期
24	精度検証のための波浪うちあげ高予測システム改良等業務	③参加確認公募	③土木	7ヶ月間	本業務は、高潮高波減災支援システムで表示している波浪うちあげ高予測システムの計算結果について、既に実装している複数の算定式による計算結果の表示できるように改良するとともに、予測地点の追加等の対応を行うものである。	1四半期
25	画像処理技術を活用した越波検知技術の精度検証及び精度向上業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、既存の越波検知プログラムを越波状況が記録されているビデオカメラ動画に適用して精度検証を行うとともに、越波検知プログラムの一部を改良して精度向上を行うものである。	1四半期
26	流域デジタルツイン地形・地物データ処理及び利用支援プログラム作成業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	11ヶ月間	本業務は、解像度の異なる地形データの連結処理及び点群データによる橋梁や樹木等データ処理プログラムを作成するとともに、地形・地物データの利用支援プログラム(加工、可視化、品質管理機能)の作成と試行を行うものである。	1四半期
27	流域デジタルツイン解析環境プロトタイプ構築及び技術開発試行業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	11ヶ月間	本業務は、流域治水デジタルテストベッドの解析・開発環境の必要な機能や能力を検討するとともに、解析環境の活用を支援する総合操作ツールの検討を行うものである。	1四半期
28	地域気候モデルのバイアス補正および流出解析業務	①一般競争(総合評価)	③土木	8ヶ月間	本業務は、地域気候モデルのバイアス補正および、これを用いた流出解析等を行うものである。	1四半期
29	水害リスクマップ及び小規模河川浸水想定区域図の作成手法検討業務(仮称)	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	水害リスクマップと小規模河川の浸水想定区域図の作成手法について、合理的に簡素化した手法を整理する。	1四半期
30	浸水センサ活用検討業務(仮称)	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	データ同化の考え方を適用または応用し、「浸水検知情報」を活用した、新たな「浸水範囲推定手法」の開発を行う。	1四半期
31	防災まちづくりのための減災対策の評価手法検討業務(仮称)	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	本川・支川・内水の各々の水害対策及びその効果を水害リスクを指標として評価し、地域ごとの効果的な対策の整理を行う。	1四半期
32	高濃度細粒土砂供給に伴う河道堆積を考慮した浸水域算出手法検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	主に中山間地域の中小河川を対象に、山地部から供給された高濃度の細粒土砂(砂・小礫)が河道に大量堆積する状況を想定し、堆積高の推定及び堆積を考慮した浸水域の算出手法について検討を行う。	1四半期
33	近年の大規模水害に関する被害実態調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	近年大きな水害を受けた被災地を対象に被害の実態を調査する。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
34	流砂観測の高精度化に関する検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	流砂観測の高精度化に向けた検討を実施するため、現場条件が濁度計の計測値に及ぼす影響に関する検討および水理特性に応じた水位計設置に関する検討を行う。	1四半期
35	深層崩壊斜面における空中電磁探査解析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	11ヶ月間	斜面内の地下水位分布の降雨影響による変化の特性把握を目的としてドローンを用いた空中電磁探査による調査を複数時期実施し、計測データを解析して比抵抗断面図の作成と変化量の整理を行う。	1四半期
36	気候変動を踏まえた砂防施設配置計画手法に関する整理分析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	気候変動の影響を踏まえた砂防施設の配置および設計手法の考え方を整理分析する。	1四半期
37	土石流・土砂流の被害範囲推定に関するデータ整理分析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	土石流および土砂流の流下・堆積範囲に構造物が及ぼす影響について数値計算から明らかにする。	1四半期
38	能登半島における河道閉塞の特性分析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	能登半島地震で発生した河道閉塞の侵食状況について調査・観測および土質試験を行う。	1四半期
39	地域ごとの地震時における大規模斜面崩壊発生リスク評価業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	地震時に発生する大規模斜面崩壊の発生リスクを地域ごとに評価する方法を検討する。	1四半期
40	斜面土層内の水みちによる斜面不安定化プロセス検証業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	斜面土層内の水みちによる0次谷や緩勾配斜面で斜面を不安定化させるプロセスを模型実験から明らかにする。	1四半期
41	小規模流域における土砂・洪水氾濫対策検討手法に関する分析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	都道府県が事業実施主体である比較的規模の小さな流域において対策を検討する方法について分析する。	1四半期
42	砂防施設の機能維持のための効果的な除石手法検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	砂防施設の管理を前提とした除石管理計画の考え方について整理分析する。	1四半期
43	地震時斜面崩壊の流動化に関する実験業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	地震斜面崩壊が土石流化する現象について振動実験から明らかにする。	1四半期
44	土砂・洪水氾濫による家屋被害の評価方法に関する検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	土砂・洪水氾濫による家屋被害の費用対効果への反映方法について検討する。	1四半期
45	がけ崩れ箇所における土砂移動の詳細分析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	4ヶ月間	過去に集中的に発生したがけ崩れ箇所について、LPの災害前後の差分データから崩壊・堆積状況を詳細に分析する	1四半期
46	令和6年度土砂災害データベース機能改良及び保守管理業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	11ヶ月間	クラウド環境にある土砂災害データベースの機能改良を実施するとともに安定的なシステム運用にかかる保守管理を実施する。	1四半期
47	振動波形データを用いた大規模土砂移動検知手法検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	10ヶ月間	全国の地盤振動を観測する振動センサー観測網を活用して大規模な土砂移動の発生位置を検知するシステムの機能向上に関する検討を実施する。	1四半期
48	災害前SAR衛星画像合成方法検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	災害前に様々な観測条件で撮影された従来のSAR衛星画像を合成することで、高頻度かつ広範囲を撮影できる新しいSAR衛星を迅速に利活用する方法を検討する。	1四半期
49	土砂災害対策ナビゲーションシステム基本要件検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	9ヶ月間	土砂災害直後に、対策に必要なメニュー等をナビゲーションするシステムの基本要件を検討する。	1四半期
50	流砂水文観測データによる土砂流出イベント検知手法検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	モデル流域で観測されている流砂水文に関する観測データを利用して、土砂流出イベントを検知する手法を検討する。	1四半期
51	能登半島地震における土砂災害発生箇所の土砂移動状況調査業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	3ヶ月間	能登半島地震におけるがけ崩れ災害箇所の土砂移動状況を空中写真と判読図で整理する。	1四半期
52	UAVを用いた土砂災害発生箇所の堆積分布調査業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	10ヶ月間	UAVを用いて土砂災害発生箇所の堆積分布を調査する	1四半期
53	一般交通量調査の調査方法に関する検討等業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	次期一般交通量調査の調査方法を検討し、調査実施要綱案及び交通量機械観測マニュアル案を作成するとともに、ETC2.0プローブ情報の取得状況の整理等を行う。	1四半期
54	ETC2.0プローブ情報等を用いた常時OD交通量推定ツール開発業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	ETC2.0プローブ情報等を用いた常時OD交通量推定ツールの開発・試行及び試行結果を踏まえた推定精度向上方策の検討を行う。	1四半期
55	車両大型化を考慮した車線幅員に関する実験業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	8ヶ月間	大型の次世代自動車の普及を想定し、これらの車両が走行上支障がない道路幾何構造条件について、実走行試験を行い整理する。	1四半期
56	道路交通状況の把握・分析に関する調査業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	道路事業の多様な効果や道路の交通容量を把握・分析する手法の検討を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
57	AIモデルを用いた渋滞予測手法の活用方法調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	AIモデルを用いた渋滞予測のケーススタディを行い精度検証を行う。また、AIモデルにより学習・渋滞予測を行うツールを開発する。	1四半期
58	常時観測交通量データの算定方法に関する検討等業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	常設トラカンとCCTVトラカンの計測値を用いた推定交通量の算定方法を検討し、交通量調査実施要綱の改定案の作成等を行う。	1四半期
59	道路幾何構造・道路交通状況の経年変化概況資料整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	3ヶ月間	これまでの道路交通センサデータを用いて、我が国における道路幾何構造・道路交通状況の経年変化概況に関する図表等の資料を整理する。	1四半期
60	画像認識技術を用いた交通量計測ツール開発業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	発注者が貸与するAIを用いた交通量計測ツールの開発及び計測対象(車種分類等)の詳細化に向けた情報収集を行う。	1四半期
61	交通安全対策に資する道路関連情報のデジタル化の方法に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	特定交通安全施設等整備事業を実施すべき道路の情報について、今後のデータ作成、更新、活用的高度化を見据えたデジタル化の方法やデータの汎用可能性、留意点等について整理するものである。	1四半期
62	道路利用者の意見を活用した交通安全対策箇所抽出に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	交通事故に至らなかったもののヒヤリとした箇所等に関する道路利用者の意見等を事故データやビッグデータにより裏付けた上で、交通安全対策箇所の抽出等を行うものである。	1四半期
63	AI画像認識技術を活用したヒヤリハット検出手法に関する整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	AI画像認識技術を活用して、路側に設置したビデオカメラで撮影した動画データから道路交通に関する事故または事故に至らなかったもののヒヤリとする場面(ヒヤリハット)を検出する手法について整理を行うものである。	1四半期
64	生活道路の交通安全に関する作業システム改良業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	生活道路の交通安全対策業務にかかわる道路管理者等が、ETC2.0プローブ情報等を活用しやすい環境の整備を目指し、構築済みの作業システムについて、機能改良、利用状況調査等を行うものである。	1四半期
65	生活道路における効果的な安全対策の推進に向けた調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	生活道路の交通安全対策に関する合意形成を円滑に進めるため、物理的デバイスの速度抑制効果についての調査・実験、交差点ランプの施工事例の収集・整理等を行うものである。	1四半期
66	交通安全施設の視認性を踏まえた適切な設置及び維持管理に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	デリニエーター等の視線誘導等のための施設を適切に設置及び維持管理するために、地域性を考慮した劣化状況及び更新目安を調査し、道路管理者への意見収集により、基準で規定すべき内容及び技術資料案を整理するものである。	1四半期
67	令和6年度 交通事故データを用いた交通事故発生状況の整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	交通事故データベースなどをもとに、交通事故発生状況の経年変化や道路状況別、事故類型別、当事者種別別などの集計を行い、交通事故発生状況の整理を行うものである。	1四半期
68	自転車や自動運転サービス等の走行を考慮した道路交通安全対策に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	道路交通環境が複雑な一般道において、自転車や自動運転車両が混入しても、安全かつ円滑な交通を確保するための交通安全対策について、調査・実験等により整理を行うものである。	1四半期
69	ETC2.0プローブ情報等による冬期交通障害の検知・予兆把握システム等に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	ETC2.0プローブ情報等を用いて冬期交通障害を捉えるものであり、気象区分別の検知フローの精度確認、予兆把握の判定指標の精度向上、大規模化の予兆把握の判定指標を設定するものである。	1四半期
70	ボラード設置における配慮事項に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	視覚障害者の基本的事項(見え方の分類、訓練内容、歩行手掛かり等)を調査し、視覚障害者誘導用ブロックとボラードの位置関係やボラードの設置間隔及び色彩等を調査するものである。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示予定時期
71	防護柵等設置における構造要件に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	交差点に設置されるボラードや短い設置延長の車両用防護柵、縁石について設置事例を調査するとともに、設置の背景、設置の考え方、事故事例等を意見収集する。また、ボラードの変形量の推定及び車両用防護柵のシミュレーションの設定条件の整理を行うものである。	1四半期
72	道路事業における動物・植物・生態系の効果的な保全手法に関する整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	道路事業における動物・植物・生態系の環境保全措置の技術向上や効率化に寄与することを目的として、環境保全措置事例集(素案)の整理及び学識経験者等へのヒアリング支援等を行う。	1四半期
73	大気質の予測手法に関する検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	道路環境影響評価の技術手法の大気質の予測に用いるNOx変換式等について、実態に合わせて検討し、技術手法改定案の作成を行う。	1四半期
74	自動車走行時の二酸化炭素排出量推計のための車両燃費特性実態把握調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	自動車の燃費特性の把握を目的として、走行調査の実施及び結果の整理、将来的な燃費特性の把握手法の効率化に向けた検討を行う。	1四半期
75	道路空間の利活用に関する技術的知見に関する整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	歩道、植樹帯、路肩からなる道路の部分の構造や運用及び、歩行者と車両が共存する道路空間の構造や運用実態を踏まえ道路管理者の参考となる知見の整理、解説資料案の作成を行う。	1四半期
76	令和6年度 道路交通騒音予測手法の更新に関する課題整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	排水性舗装の自動車交通騒音パワーレベルを測定するとともに、道路交通騒音分野の環境影響評価の最近の運用状況を整理し、ASJ RTN-Modelの更新に伴う道路交通騒音予測値への影響について試算し、「環境影響評価の技術手法」に反映させるための課題整理を行う。	1四半期
77	道路管理分野の温室効果ガス排出量削減対策及び効果推計に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	太陽光発電等の再生可能エネルギーや、省エネルギー技術の道路管理分野への導入に係る課題を整理するとともに、消費エネルギー削減量(削減ポテンシャル)の推計方法を整理する。	1四半期
78	令和6年度電線共同溝に用いる管路性能案の作成業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	電線共同溝マニュアル等に示される管路材の要求性能等から、電線共同溝に用いる管路材の要求性能案を作成する。	1四半期
79	令和6年度無電柱化事業の円滑な推進に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	「無電柱化事業における合意形成の進め方ガイド(案)」の内容充実に向け、地方公共団体の事業実態及び地震時の無電柱化効果を調査する。くわえて、海外における無電柱化の推進施策を調査する。	1四半期
80	電気自動車の給電施設利用実態整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	電気自動車の給電施設の利用実態及び、実態を踏まえた利便性向上方策の検討を行う。	1四半期
81	自動運転トラック向け路車協調システムの効果分析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、高速道路での自動運転トラックの安全・円滑な走行を支援するための合流支援情報提供及び先読み情報提供のための路車協調システムについて、実道での実験の準備・実施・結果整理等を行うものである。	1四半期
82	ETC2.0プローブデータ処理システムの改良検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	本業務は、ETC2.0プローブ情報を利便性の高い情報とすることを目指し、過年度に国総研内に構築したテストシステムについて、動作環境の整備、機能実装及び実機検証等を行うものである。	1四半期
83	重量超過車両検出システム構築及び効果検証業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	本業務は重量超過の可能性が高い車両を検出するシステムの開発に必要となる、機能要件定義、設計書の作成、プロトタイプの実証実験等を行うものである。	1四半期
84	ITSの国際標準化状況調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、ITS 関連の国際標準化状況の調査、国際標準規格案の作成支援、インフラスタンダード委員会などの会議資料の作成及び運営支援を行う。	1四半期
85	道の駅赤来高原周辺における舗装調査業務	①一般競争(総合評価)	③土木	7ヶ月間	本業務は、道の駅赤来高原周辺(島根県飯南町)において電磁誘導線が埋設された箇所での舗装調査等を行うものである。	1四半期
86	自動運転トラック向け合流支援情報提供システムに関するマイクロシミュレーション構築と効果分析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、自動運転トラック向け合流支援情報提供システムの有効性について、合流部の交通シミュレーションを構築し、必要となる分析を行うものである。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
87	既設鋼トラス橋の限界状態と耐震補強に関する数値解析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	鋼トラス橋を対象に、耐震補強設計でH29道路橋示方書を適用し設計プロセスと耐震補強構造の合理化を行ううえでの課題分析の基礎資料を得るため、トラス橋の限界状態を把握する非線形解析や耐震補強に関する試設計を行う。	1四半期
88	地震により被災した橋の限界状態に関する整理、試算業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	被災した道路橋の被災前の状態に対して、道路橋定期点検要領における性能の評価、総合評価指標の算出、道路リスクアセスメント要領案による破壊可能性や破壊形態の評価を行う。また、いくつかの橋について、定期点検結果や被災後の調査に基づき被災前の状態や支点周りの構造をパラメータにした数値解析を行い、被災メカニズムや被災した状態の耐荷機構について整理する。	1四半期
89	既設道路橋の補修補強に部分係数法を用いた試設計業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	活荷重計測の有無や既設橋の損傷程度やその範囲の違い、補修工法の違いに応じた部分係数を試算し、大型車の通行に対する安全余裕の整理や修繕に関する試設計を行う。	1四半期
90	ダンパーや変位制限構造の取付け部の限界状態に関する試算業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	過去の地震被災において、ダンパー取付け部や変位制限構造の取り付け部が損傷した橋について、作用力の大きさや作用時間、破壊過程に関する数値解析等を行う。	1四半期
91	吊り橋の信頼性試算業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	長大吊り橋や小規模吊り橋など複数の吊り橋について、荷重シミュレーション結果に基づき、各部の安全余裕を試算する。	1四半期
92	既設道路橋の活荷重実態調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	実橋における活荷重計測を行い、過去の計測結果と比較整理する。また、主桁、支承、伸縮装置への活荷重の作用効果のうち、衝撃係数を計測する。	1四半期
93	既設道路橋の活荷重安全率に関する試算業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	大型車の通行条件に応じた既設橋の構造形式に応じた安全余裕を試算する。	1四半期
94	構造条件や交通条件の違いによる活荷重係数試算業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	大型車の通行条件に応じた既設橋の荷重シミュレーションを行う。	1四半期
95	定期点検データを用いた道路橋の劣化特性に関する分析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	最近の定期点検データも加えて、国総研資料第985号の情報を更新する。加えて、車両重量特性の影響、適用基準の影響、補修補強の影響なども考慮した状態遷移確率等を整理する。また、得られた整理結果により、大型車の通行が道路橋の維持管理に与える影響について試算する。	1四半期
96	耐候性鋼橋のさび状態及び環境データ整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	海岸の比較的近くに建設された耐候性鋼橋について、建設前の架橋位置近辺での飛来塩分計測結果、建設後の架橋位置での飛来塩分や風向計測結果、実桁の錆調査結果から、実桁の錆の状態に影響を与える局所的な因子の統計的な分析や相関関係を整理する。	1四半期
97	令和6年度道路トンネル定期点検結果整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	令和元年度から令和5年度に行われた2巡目の道路トンネルの定期点検結果の分析及び1巡目点検結果との比較を実施し、変状の傾向等に関するデータ整理を実施する。	1四半期
98	令和6年度 シェッド、大型カルバート等定期点検結果整理等業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	シェッド、シェルター及び大型カルバート等に発生している変状の特性を把握し、定期点検の信頼性向上及び合理化の手法に関する検討に必要な基礎資料を得るため、定期点検結果を分析し、変状の傾向等に関するデータ整理を実施するものである。	1四半期
99	河道の変化に起因する橋梁基礎の洗掘リスクに関する整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	河道の変化に起因する被災リスクの評価に関する検討に必要な基礎資料を得るため、橋梁位置における空中・衛星写真や被災橋梁データ等に関する比較・分析を実施するものである。	1四半期
100	シールドトンネル及び開削トンネル等の設計に関する整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	シールドトンネル及び開削トンネル等の設計事例や技術基準類の収集・整理を行う。	1四半期
101	橋台背面盛土の挙動特性に関する解析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	橋台背面盛土の挙動特性を把握するための数値解析を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
102	令和6年度舗装の定点調査等業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	全国13箇所の舗装区間(1区間100m)を対象にひび割れ調査やFWD調査等の調査を実施し、結果を整理する。さらに、定点調査結果を活用した力学的経験的設計法の導入可能性について、海外事例を参考に検討する。	1四半期
103	令和6年度道路土工構造物の点検結果に関する分析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	本業務は、平成30年度から令和5年度の全国道路施設点検データベースの点検結果と取りまとめるとともに、「変状の種類」について、構造物別(盛土、切土、のり面保護施設、カルバート、擁壁、排水施設、その他(路面、自然斜面等))について整理し、実際の点検結果と点検様式の「変状の種類」の記載例について乖離状況を確認し、「変状の種類」の記載内容について再分類を行い、道路土工構造物点検要領の次期改定に向けた基礎資料として取りまとめるものとする。	1四半期
104	自然災害による道路土工構造物の被災メカニズム等に関する調査分析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	本業務は、道路土工構造物の洗掘や自然斜面及びのり面を含む土砂災害による道路閉塞の被災に対し、それらの防止対策や道路機能のリスク評価手法の確立に向け、近年発生した災害事例の整理・分析を行うものである。	1四半期
105	令和6年度 道路被災を踏まえたリスク評価手法検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	10ヶ月間	近年の大規模災害のデータから、どのような構造・立地条件における、被災の有無や程度を整理し、定期点検要領の改訂を踏まえたリスク評価手法の改訂の検討を行う。また、能登半島地震等を対象としたリスク評価の試行を行うものである。	1四半期
106	衛星データを用いた道路被災状況調査に関する標準仕様書の整理・検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	衛星画像を活用した道路被災状況調査の実事象での適用に関する検討を実施するとともに、その検討プロセスを整理し、衛星画像データ活用に関する標準仕様書書の検討を実施するものである。	1四半期
107	UAV被災情報集約システムの実用化検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	無人航空機での道路被災状況調査を実施する際の情報集約システムを構築するとともに、そのシステムについて、実現場での試行を実施するものである。	1四半期
108	デジタル技術による劣化検出精度の検証および適合性評価基準の開発に関する補助業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	②建築	8ヶ月間	各種のデジタル技術による劣化検出精度の検証を行うとともに、検証結果に基づきデジタル技術の既存住宅状況調査への適合性の評価方法を整理する。	1四半期
109	改修によるマンションの総合的改善に係る技術・事例情報の調査整理及び長期修繕計画の課題整理業務(仮)	②簡易公募型プロポ(拡大型)	②建築	9ヶ月間	マンション性能の総合的なグレードアップによるマンション再生を実現する手法について、新たな技術や事例情報の調査整理を行う。また、改修マニュアルの改訂に伴う、長期修繕計画ガイドラインの改訂検討に向けた課題整理を行う。	1四半期
110	マンション省エネ改修のコスト・効果に関する事例及びデータ収集・整理業務(仮)	②簡易公募型プロポ(拡大型)	②建築	9ヶ月間	マンション省エネ改修のコストや効果に関する事例情報の調査及びデータの収集・整理を行う。	1四半期
111	ソフト対策を考慮した密集市街地の防災性能評価手法に係る改良等業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	⑤土木又は建築	9ヶ月間	国土技術政策総合研究所において作成した、ソフト対策を考慮した密集市街地の防災性能評価手法の試作版について、ケーススタディによる検証や学識経験者への意見聴取等を行いつつ、実装化に向けた改良を行う。	1四半期
112	人流データを用いた発生集中原単位の推計及び検証と審査マニュアル(素案)の作成等業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	⑤土木又は建築	7ヶ月間	全国の特定行政庁における建築基準法第48条ただし書による特例許可の際に、中小規模施設の交通面での審査時の使用を想定したマニュアル(素案)の作成と、人流データを用いた当該施設の発生集中原単位の推計とその精度検証等を行うものである。	1四半期
113	街区性能水準評価手法の効率化業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	⑤土木又は建築	6ヶ月間	密集市街地の接道不良敷地等における協調的建替促進の支援を目的として国土技術政策総合研究所において開発した「街区性能水準の簡易予測・評価プログラム」について、操作性向上、性能評価項目の追加に関する改良を行う。	1四半期
114	接道規定の特例・緩和措置に関する事例収集及び分析業務	⑤未定	⑤土木又は建築	6ヶ月間	建築基準法第43条第2項第2号の許可、第42条第3項等による接道規定の特例・緩和措置について、全国における運用実態を調査し、傾向や参考となる事例について分析を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
115	都市内における人の流動の推計手法の高度化に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	都市における人の流動の詳細な把握や将来推計・分析を可能にするため、ビッグデータとPT調査等との統合による人の流動把握手法とあわせて、交通行動モデル等を組み合わせることによる都市交通調査・分析手法の高度化に関する調査を行う。	1四半期
116	都市における多様なモビリティの連携および都市空間との調和に関する観測・実験等補助業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	公共交通を中心としたウォーカブルなまちづくりを推進するための新たな都市交通システム(先進的バス輸送システムやデマンドモビリティ・超小型モビリティ、サイクルシステム等の中小型の都市交通システム)等を対象として、ネットワークのあり方や、乗継ぎ等の相互連携および沿道土地利用等との調和のあり方に関する検討に必要な観測・実験等を行う。	1四半期
117	都市におけるパブリックスペースの有機的連携効果の評価に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	多様な住まい方・働き方に対応した人間中心のまちづくりを推進するため、パブリックスペースに着目し、利用者行動把握・分析等を通じ、パブリックスペースのあり方やこれらが連携することによる効果を踏まえた評価手法に関する調査を行う。	1四半期
118	高所カメラによる火災情報等収集に関する検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	⑤土木又は建築	5ヶ月間	高所カメラを用いて火災等の発生状況を把握するシステムの開発・運用等に関する検討を行う。	1四半期
119	衛星SARによる火災検出プログラム作成業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	⑤土木又は建築	5ヶ月間	衛星SARデータを用いて広域火災等による建物等の変化を観測し、火災発生場所を検出するプログラムを開発する。	1四半期
120	技術提案・交渉方式の実施状況に関する調査・整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、技術提案・交渉方式の実施状況の整理、技術提案・交渉方式による適用効果等に関する整理等を行うものである。	1四半期
121	測量・調査・設計等業務の実施状況に関する調査・整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、維持管理に関する測量・調査・設計等業務における実施状況の整理、担い手確保等に関する各種試行の整理等を行うものである。	1四半期
122	生成AIの活用動向等に関する調査・整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、建設分野における生成AIの活用動向の調査及び適用性に関する整理等を行うものである。	1四半期
123	令和6年度 諸外国の公共土木工事の諸制度等に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	欧州、米国を対象に、公共工事における積算方法、監督・検査方法、技能者の育成、施工体制、安全対策等に関する諸制度、運用実態等に関して調査を実施し、わが国との比較を行い、今後の建設システムの改善に資する基礎資料を得るものである。	1四半期
124	維持・修繕工事における積算の内容と施工実態の検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	施工実態と合った積算を行うため、維持・修繕工事における不確実性を見込んだ積算手法の検討を行う。	1四半期
125	3次元計測技術を用いた出来形管理における生産性向上検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	4ヶ月間	本業務は、3次元計測技術を用いた出来形管理において2次元への置換の省略、遠隔化等による生産性向上を検討するものである。	1四半期
126	3次元計測技術を用いた土木工事の出来形管理等にかかる検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	本業務は、ICTを活用した工事における出来形管理等の基準類に関して民間から募集した提案の審査及び実務担当者からの問い合わせの整理に基づいて出来形管理要領の修正項目の整理を行うものである。	1四半期
127	機械設備の情報可視化手法調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、既存データベース及び3次元データと情報可視化ツールとの連携手法を調査すると共に可視化ツールを試作するものである。	1四半期
128	河川機械設備の点検作業性評価素案検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、設備構造から河川機械設備の点検作業性(安全、疲労)を評価するための評価素案について検討するものである。	1四半期
129	工程進捗データ流通環境構築に関する検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、土木工事施工管理の高度化に向けて、工程進捗データ流通環境の構築に関し、工程進捗データ標準素案の改善検討等に取り組むものである。	1四半期
130	機械土工における生産性の高いICT建機活用手法の検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、生産性の高いICT建機活用ガイドライン(案)のドラフトをまとめ、施工者との意見交換を行い、R7年の改善箇所の抽出を行うものである。	1四半期
131	国土交通データプラットフォーム機能拡充検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	国土交通DPFの機能拡充のためのデータ連携機能等の各種機能改良、運用管理等を行う。	1四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
132	BIM/CIM原則適用における3次元データ等の共通データ環境に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	BIM/CIMの共通データ環境を検討するため、現状の共通データ環境の整理、今後の共通データ環境に関する資料の作成を行う。	1四半期
133	令和6年度点群データの保管・管理等に関するシステムの改良業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	各地整事務所が取得した直轄国道の点群等データをMMSデータ保管・管理・処理システムへ効率的に登録・活用できるシステムの改良を行う。	1四半期
134	建設現場におけるGHG排出削減量の算定試行業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	建設現場におけるGHG排出削減量の算定方法を検証するため、工事における排出量算定の試行を行う。	1四半期
135	建設現場における脱炭素技術によるGHG排出削減量の算定方法調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	インフラ整備に関する個別の脱炭素技術によるGHG排出削減量の算定方法に関する調査を行う。	1四半期
136	建設工事におけるGHG排出量算定の簡素化に関する調査	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	建設工事におけるGHG排出量を簡素に算定するため、算定ツールに関する条件整理とプロトタイプを作成を行う。	1四半期
137	交通シミュレーションによる大雪時の交通状況調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	8ヶ月間	大雪時の通行止めや行動変容の影響を把握するため、交通シミュレーションの実施、大雪時の交通挙動のデータ整理を行う。	1四半期
138	道路アクセシビリティ向上による経済効果に関するパネルデータ分析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	道路アクセシビリティ向上による経済効果に関する、パネルデータ分析調査、全国マクロ計量経済モデルの課題整理を行う。	1四半期
139	河川又はダムを活かした公園緑地の技術資料案作成に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、河川又はダムを活かした公園緑地の技術資料素案を用いて、各事例に関わる管理者への資料確認及び修正、追加情報収集等を行うものである。	1四半期
140	歴史的景観特性の把握手法と活用に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、日本の歴史的景観特性の把握手法について技術資料案を作成するとともに、手法の活用について整理するものである。	1四半期
141	まち空間と融合した河川空間の実現に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、まち空間と融合した河川空間の実現のために必要な考え方や留意点、具体策等を検討、整理し技術資料案を作成するものである。	1四半期
142	街路樹の計画的な更新手法に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、国内外における街路樹の更新事例や維持管理方法を基に、道路構造や地域性に配慮した更新計画の立案方法とステークホルダーとの合意形成方法を整理する。	1四半期
143	造園分野BIM/CIM導入に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、造園分野の設計及び維持管理等に活用可能なモデルとデータを収集するとともに、BIM・CIMのモデルやデータ等の作成方法を整理、モデルの作成を試行するものである。	1四半期
144	道路緑化に適合する樹種選択と植栽配置に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、道路空間に適合する樹種について、樹種特性(樹木形状、成長速度、病虫害耐性等)や緑化機能(CO2固定、緑陰形成、景観向上等)、地域性等の観点から整理するとともに、樹種毎の適正な植栽配置を検討する。	1四半期
145	都市公園における戦略的リノベーションに関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、都市公園の再編、リノベーション・再整備手法に関して、詳細調査(ヒアリング調査)を行うとともに、都市公園の新たな利用ニーズ調査を行ない、その取組内容や課題に関する整理を行う。	1四半期
146	都市公園における新技術の実装化に向けた調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	本業務は、公園緑地分野において、有用な新技術を抽出し、事例・ヒアリング調査(自治体・民間業者等)を実施するとともに、その実装化に向けた手法、課題・留意点等について整理する。	1四半期
147	気候変動の影響を踏まえた浸水対策施設の段階的整備に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	海外の都市における気候変動への対応等の実態を参考に、気候変動の影響を踏まえた浸水対策施設の整備の考え方等について整理する。	2四半期
148	非定常な降雨データを用いた計画降雨の設定手法等に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	非定常な降雨データを用いた計画降雨の設定手法等について整理する。	2四半期
149	地震時の下水管路の条件別被災率検討業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	地震時の下水管路の条件別被災率を整理し、被災率を推定値と被災状況を比較する。	2四半期
150	海外における下水処理場の放流水質に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	海外における下水処理場の放流水質について、情報整理を行う。	2四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
151	(仮) 下水処理により排出される一酸化二窒素の排出係数に関する情報収集・整理業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、下水処理場における水処理から発生する一酸化二窒素の排出係数について、国内外における調査事例の収集整理を行うものである。	2四半期
152	下水処理場における消費電力量試算ツール改良業務(仮)	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	過年度に作成した下水処理場における消費電力試算ツールについて、放流水質と消費エネルギーの関係及び汚泥集約処理の影響を反映させるため、本ツールの改良に向けて情報収集整理を行い、そのうえで本ツールの改良を行うものである。	2四半期
153	河川横断構造物の破壊メカニズムに関する水理実験業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	ブロックを使った屈撓性構造の緩傾斜落差工を対象に、主要な破壊プロセスを把握する水理模型実験を行う。	2四半期
154	堤防越水実験業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	7ヶ月間	越水した場合でも粘り強い河川堤防の構造を検討するため、実物大の堤防模型を製作し、堤防模型の壊れ方等を確認する越水実験を行う。	2四半期
155	河道計画・河道管理を見据えた超過洪水による被害軽減のための数値解析業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	検討対象河川を選定し、主要な超過洪水シナリオを策定し、その被害を軽減するための河道計画、河道管理、危機管理対策について検討を行う。	2四半期
156	AutoEncoderを用いたスペクトル評価ソフト作成業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	4ヶ月間	ダムで観測された地震波形より算出したスペクトルをAutoEncoderを用いて評価するソフトを作成する。	2四半期
157	既往最大雨量超過判定システム設計業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	複数の雨量指標での既往最大超過判定を行うシステムを設計し、プロトタイプを構築する。	2四半期
158	崩壊後斜面の残存リスクの簡易評価ツール作成業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	3ヶ月間	GISを活用して崩壊後斜面の詳細なDEMデータから残存リスクを簡易に表示するツールを作成する	3四半期
159	交差点の隅角部における視覚障害者誘導用ブロック等の設置方法に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	9ヶ月間	交差点隅角部の視覚障害者誘導用ブロックについて、既存事例を調査し、試験により敷設形状や留意すべき事項を整理するものである。	2四半期
160	特殊車両自動計測装置の車長計測機能検証等業務	①一般競争(総合評価)	③土木	5ヶ月間	本業務は特殊車両自動計測装置の車長計測機能追加のための精度検証及び特殊車両自動計測装置仕様書の改訂作業を行うものである。	2四半期
161	日本版FMS標準に関する情報収集及び整理業務	①一般競争(総合評価)	③土木	5ヶ月間	本業務は日本版FMS標準に関する情報収集を行い、大型車両通行適正化に向けたデータ活用可能性について検討を行うものである。	2四半期
162	道路橋群の劣化や防災に関わる計画的対策に関する試算業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	5ヶ月間	道路橋群の維持管理計画を策定するにあたって、定期点検結果やリスクアセスメント結果に応じたLCC等の変化について、試行錯誤的に試算する。	2四半期
163	変位制限ブロック等接合部の载荷試験業務	①一般競争(総合評価)	③土木	6ヶ月間	ダンパー取付け部や変位制限構造の取付け部などの限界状態を把握するための载荷試験を行う。	3四半期
164	ボックスカルバートの部分係数設計法導入に向けた荷重係数試算業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	ボックスカルバートの部分係数設計法導入に向けて、荷重係数の試算を行う。	2四半期
165	道路橋の耐震設計に係る地震応答解析業務	①一般競争(総合評価)	③土木	6ヶ月間	本業務は、地震応答解析を用いて道路橋の耐震性を整理するものである。	2四半期
166	観測記録に基づく道路構造物の振動特性の調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、観測された橋全体系の連続加速度波形を整理して振動特性を分析するものである。	2四半期
167	CANデータの活用による災害時の道路状況推定に関する調査業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	③土木	6ヶ月間	本業務は、道路管理者の適確な災害対応を支援する道路状況の把握を、自動車メーカー等が収集するCANデータ等の分析により行うものである。	2四半期
168	住宅の性能表示事項に係る調査業務(仮)	②簡易公募型プロポ(拡大型)	②建築	6ヶ月間	住宅の性能表示事項に関連する技術の普及状況等を把握・整理する。	2四半期
169	住宅居室の採光に伴う光環境算定業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	②建築	6ヶ月間	住宅居室において窓からの採光に伴う室内の光環境に関して、照度分布や輝度分布の算定を行い、得られた結果を整理する。	2四半期
170	令和6年度将来人口・世帯予測ツール改良業務	②簡易公募型プロポ(拡大型)	⑤土木又は建築	6ヶ月間	国総研が作成し現在公開中の小地域(町丁・字)単位の将来人口・世帯予測ツールについて、令和2年国勢調査データに基づく将来世帯数の予測計算を可能とするプログラムの改良を行う。	2四半期

No.	業務の名称	対象業務の区分	業務区分	履行期間	業務の概要	公示 予定時期
171	3次元樹木モデルの作成方法に関する調査業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	4ヶ月間	本業務は、3次元樹木モデルの作成方法について、国内外の事例調査を行い、詳細度300程度のモデル作成手法を整理するものである。	3四半期
172	ダム事業におけるDXを推進するためのデータベースの詳細設計及び試作業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	建設時から維持管理、再開発時の各段階で用いることが可能な一貫した各種ダムに関するデータを保存・活用するための、データベースの詳細設計及び試作を行う。	1四半期
173	小型 SAR 衛星を活用したダムおよび貯水池周辺斜面の変位解析等業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	7ヶ月間	小型SAR衛星によるロックフィルダムでの計測精度の検証及び、衛星の活用方法の検討、計測位置や変位計測の精度向上のためのリフレクターの導入に関する検討を行う。	1四半期
174	ダム事業計画における不確実性の低減に寄与する対策に関する検討業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	ダム事業の工期や事業費に影響を及ぼす不確実性について、不確実要因による影響の低減に寄与する対策を検討・整理し、技術資料(案)としてとりまとめる。	1四半期
175	実地震波を用いたロックフィルダムの三次元地震時応答解析業務	②簡易公募型 プロポ(拡大 型)	③土木	6ヶ月間	実地震波形を用いて、ロックフィルダムをモデルとし三次元の地震時応答解析を実施し、その地震波によるダムへの影響等について整理する。	1四半期